

令和7年度 第2回 八代市立図書館協議会 会議録

日 時：令和7年11月27日（木）午後1時30分

場 所：八代市立図書館 大集会室

出席委員：宮嶋委員、桑原（理）委員、藤澤委員、徳田委員、橋野委員、
桐委員、小原委員、桑原（伸）委員

欠席委員：森下委員、内木委員

事務局：田中教育部長、鋤田教育部次長、泉課長、中川係長、永吉参事、

吉野館長、田口統括責任者、本田せんちょう分館長、木場かがみ分館長

欠 席：中教育長、下津教育部次長

公開状況：公開

傍聴者：0名

1. 開会

2. 教育委員会挨拶

教育部長：8月に発生した大雨による水害に遭われた皆様へ心よりお見舞いを申し上げる。市立図書館も被害を受けた。本館の一部駐輪場浸水、せんちょう分館は床上浸水。エアコンなども使用できなくなった。只今復旧作業にあたっているが、休館中のせんちょう分館には、地域の方々への読書・学びの支援を続けるために移動図書館の巡回サービスを行っている。地域の方々からも一日も早く開館してほしいとの声を頂いている。予定では2月、3月の予定。

また、市立図書館本館は昭和60年6月に今の場所に移転し、今年で40周年を迎えた。40年の長きに渡り、市民の皆さんのが生涯学習や学びの支援に貢献してきた。これも、図書館を利用されている市民の皆さんのが温かい支援の賜物である。40年で社会は大きく変化し、情報化社会の中で図書館に求められる役割も多様化してきた。平成19年度からはせんちょう分館とかがみ分館も統轄した。平成27年からは指定管理者へ移行し、さらなる蔵書の充実やサービスの向上、電子図書館などIT技術の投入など、さらなる利便性の向上と誰もが気軽に立ち寄れる図書館づくりに努めている。また、来年の2月からはマイナンバーカードでも本が借りられるシステムを導入する予定。様々なサービスを開始しているが、教育委員会と指定管理者が知恵を出し合って市民に親しまれる図書館サービスを提供できるよう努めていきたい。引き続き、皆様の忌憚のないご意見・ご提案をお願いしたい。

3. 会長挨拶

会長：学校の中でも秋の読書週間には本の読み聞かせなどを行った。全ての世代において、紙の本だけでなく電子図書館も含め、読書に触れる機会は貴重であるため、市立図書館の役割は大事だと考える。本の紛失について、以前協議会の中で話し合ったことが、IC導入への実現に繋がったこともあり、この会は大変有意義な時間と考えている。

4. 議事

【1】来館者アンケートについて（報告）

事務局：7月1日～8月31日までの2ヶ月間全館で行ったアンケート結果を報告する。なお、移動図書館分は本館に含まれている。

①八代市立図書館 本館のアンケート調査について

本館の回答者数は440名。その中で年齢と職業については昨年と同じ結果だった。年齢に関しては、昨年度と同様70代が一番多く、次に10代以下となっている。10代以下の利用が多い理由としては、学習での利用が増えてきていると考えられる。職業については昨年と同様の結果である。

「どのような目的で市立図書館を利用されていますか」では、昨年度と同様約6割の方が「図書等を借りるため」や「図書等の閲覧」という結果になった。また「催し物への参加」に関しては、昨年は9.7%だったのが今年は10.8%、さらに「勉強（自習）」が昨年は11.5%だったのが、今年は15%になった結果から分かるように、図書以外の目的でも利用して頂いていることが分かった。

「市立図書館を利用する頻度は、どのくらいですか」では、「月に2～3回」利用する方が最も多く、次に「月に1回」という結果になり、昨年度と同じだった。

「図書館からのお知らせや情報」では、昨年と同様「広報やつしろ」と「ホームページ」からが多いことが分かった。特に「広報やつしろ」を上げられている方が4割だった。

「来館する際の交通手段は何ですか」では、一番多いのは「自家用車・バイク」での来館だった。「徒歩」での来館が昨年は7.4%だったのが、今年は13.9%に増えたことが分かった。反対に、「自転車」での来館が昨年は22.1%だったのが、今年は20.8%になっている。交通手段が徒歩や自転車の方も、ある程度いらっしゃることが分かる。

「図書館の滞在時間はどのくらいですか」では、7割の方が1時間未満であることが分かっている。昨年は、1時間未満の方が6割だったので、本を借りてすぐ帰られるかたの利用が増えたことが分かる。

「八代市電子図書館を利用していますか」では、「利用している」と答えた方が昨年の16%から13%に減っている。「知っているが利用したことがない」は、昨年の56%から46%に少し減少している。今年、新たな設問として「知っているが利用したことがない」と答えた方に理由をお尋ねした。その中で「紙の本が望ましい」という回答が約5割あった。

「移動図書館を利用していますか」では、「利用している」は昨年と同じ割合だった。「知っているが利用したことがない」という方が1番多いが、これも新たな設問として理由を尋ねている。大半の方が「本館や分館を利用しているので利用する必要がない」という理由だった。

「利用したい図書などがそろっていますか」では、昨年度と同様約半数以上の方が「利用したい本がそろっている」と回答している。

「今後、より充実してほしいサービスはどれですか」では、昨年と同じく「図書資料の充実」

が一番多く、次に「駐車場の整備」が多い結果となった。

「総合的にみて、市立図書館にどの程度満足していますか」では、「大変満足」と「満足」が合わせて約8割という結果になった。

②せんちょう分館のアンケート調査について

せんちょう分館の回答者数は102名。8月の大雨による水害により休館しているので、そこまでのアンケート結果となっている。まず年齢は、「10代以下」の利用が一番多く、次に「60代」の利用が多いという結果になった。せんちょう分館は目の前に千丁小学校があるので、小学生の利用が多く、10代の利用が多い理由の1つとなっている。職業に関しては、昨年と同じような結果である。

「どのような目的で市立図書館を利用されていますか」では、約6割の方が「図書等を借りるため」や「図書等の閲覧」ということが分かった。小学生が沢山利用しているので「勉強(実習)」も14.8%と多い結果となった。

「市立図書館を利用する頻度は、どのくらいですか」では、「月に2~3回」が一番多く、次に「週に1回」という結果だった。

「図書館からのお知らせや情報」では、「広報やつしろ」と「ホームページ」から知る方が多いことが分かった。

「来館する際の交通手段は何ですか」では、約6割の方が「自家用車・バイク」で来館しているという結果になった。

「図書館の滞在時間はどのくらいですか」では、約6割の方が「1時間未満」という結果になった。「3時間以上」滞在される方も2割以上いることが分かった。昨年は8割近くの方が「1時間未満」という結果だったので、長い時間利用される方も増えてきていることが見える。また、館内で勉強するために長い時間館内で過ごす小学生もいる。

「八代市電子図書館を利用していますか」では、「知っているが利用したことがない」や「知らない」と答えた方が約4割いることが分かった。

「移動図書館を利用していますか」では、「知っているが利用したことがない」「知らない」と答えた方がそれぞれ4割だった。

「利用したい図書などがそろっていますか」では、約7割の方が「利用したい本がそろっている」と答えている。

「今後、より充実してほしいサービスはどれですか」では、「図書資料の充実」が一番多いという結果になっている。

「総合的にみて、市立図書館にどの程度満足していますか」では、「大変満足」と「満足」が合わせて9割以上という結果になった。

③かがみ分館のアンケート調査について

かがみ分館の回答者数は131名。まず年齢は、「60代」以上の利用が一番多く、次に「10代以下」の利用が多いという結果になった。昨年、「10代以下」の利用が7%だったのが、今年は

22%とかなり上がっている。理由としては「かがみマンガ文庫」の効果が考えられる。また、昨年は「70代」の利用が22%だったのが、今年は6%に下がっている。職業に関しては、この結果が反映されているのか、「就業者」の方と「未就業者」の方の割合が逆転している。

「どのような目的で市立図書館を利用されていますか」では、約8割の方が「図書等を借りるため」や「図書等の閲覧」を利用していることが分かる。これは昨年と同様の結果だった。

「市立図書館を利用する頻度は、どのくらいですか」では、「月に2~3回」、次に「週に1回」という結果になっている。

「図書館からのお知らせや情報」では、「広報やつしろ」から知る方が一番多く、次に「ホームページ」という結果になった。

「来館する際の交通手段は何ですか」では、約8割の方が「自家用車・バイク」という結果になった。

「図書館の滞在時間はどのくらいですか」では、昨年と同様、約8割の方が「1時間未満」という結果になった。

「八代市電子図書館を利用していますか」では、「知っているが利用したことがない」が5割となつた。

「移動図書館を利用していますか」では、「知っているが利用したことがない」が約6割となつた。

「利用したい図書などがそろっていますか」では、昨年と同様、約8割の方が「そろっている」と回答した。

「今後、より充実してほしいサービスはどれですか」では、昨年と同様「図書館資料の充実」が一番多かった。

「総合的にみて、市立図書館にどの程度満足していますか」では、「大変満足」と「満足」合わせて9割以上となつた。こちらも昨年と同様の結果となつた。

④ホームページ上のアンケート調査について

ホームページでの回答者数は37名。まず年齢は「60代」以上の方が一番多く、次に「30代」の方が多いということが分かった。職業は「就業者」の方が6割以上、「未就業者」の方が4割未満となつた。

「どのような目的で市立図書館を利用されていますか」では、約7割の方が「図書等を借りるため」「図書等の閲覧のため」という結果になつた。

「市立図書館を利用する頻度は、どのくらいですか」では、「週に1回」もしくは「月に2,3回」という結果が一番多い結果になつた。

「図書館からのお知らせや情報」では、「ホームページ」が一番多く、昨年と同様の結果となつた。

「来館する際の交通手段は何ですか」では、6割の方が「自家用車・バイク」という結果になつた。

「図書館の滞在時間はどのくらいですか」では、昨年と同様、約8割の方が「1時間未満」と

いう結果になった。

「八代市電子図書館を利用していますか」では、「知っているが利用したことがない」が5割となった。こちらも「紙の本が望ましい」という理由が一番多かった。

「移動図書館を利用していますか」では、「知っているが利用したことがない」が約8割だった。こちらも「本館を利用しているから」という理由が一番多かった。

「利用したい図書などがそろっていますか」では、約6割の方が「そろっている」と回答した。

「今後、より充実してほしいサービスはどれですか」では、「図書資料の充実」次に「駐車場の整備」となった。

「総合的にみて、市立図書館にどの程度満足していますか」では、「大変満足」と「満足」を合わせて約8割となった。

委 員：只今、事務局より報告があったが何か質問等は？

委 員：今の報告を受けて大変よかったです。アンケート結果が現実と少し違うという感じもしました。私は移動図書館でコミセンを利用しているが、2人くらいで少ないと感じる。移動図書館の広報をもっとしてはどうか。

事務局：移動図書館を利用されている方は人数的には少ないというはある。その日のその時間に行かないと利用できない、というのも1つ原因としてあるかもしれない。学校に行った際は児童生徒さんが沢山利用しているので、ステーションによっても利用される人数に差がある。

ただ、利用される人数が少なくとも、本館や分館に来館できない方にとっては非常に重要なサービスだと考えている。市民の皆さんにもう少し情報をお届けできるように図書館としても今後広報に力を入れていきたい。

委 員：ぜひお願いしたい。

委 員：図書館の職員さんは、本当にしっかり対応して頂いて感謝している。ただ、せんちよう分館に関して、休館前も利用していたが、子どもたちが多くうるさいと感じていた。

現在休館中にも関わらず、駐車場に親御さんのお迎え等で大変車が多いことが気になっている。どのように対応されているのか。

事務局：小学校にも出向いて、お願いはしているところだが、なかなかルールを守っていただけない方も多くいらっしゃるという現実がある。今、休館をしているから駐車場での送り迎えが少ないと、そうではなく、今でも多くの方が利用されている。今後、オープンに向けてどうしたらよいか検討していきたい。

【2】令和7年度事業計画（報告）

事務局：令和7年度事業計画について報告する。

●図書館運営について

利用状況の4月から9月までの分を報告する。8月以降については、せんちよう分館が臨時休館しているので、その分が影響している。また、入館者数が前年度を上回っているのに対し、

貸出冊数等がやや下がっているという結果となった。

●電子図書館利用状況

貸出冊数は年々少し減少しているが、読み放題の貸出冊数は増えている。令和7年度はまだ、半年(9月)の時点だが令和6年度の数を上回っている。読み放題の貸出冊数が増えている理由は、今年度、特に広報に力を入れたことが結果に反映されているとみている。各学校へ電子図書館についてのチラシを配布したり、学校への出張講座などで先生方へ広報したりした。こちらも、前回の協議会で「学校へのお知らせをもっとできないか」との提案を受けて対応した。

ただ、全体的な貸出冊数が減少していることに関しては、広報の仕方を引き続き考える必要がある。

●図書館運営方針に伴う令和7年度の取組について

(1)郷土を拓く人を育む図書館

①課題解決に取り組む市民の読書活動の推進

第9回八代市立図書館を使った調べる学習コンクールを開催した。応募期間は8月1日から10月1日まで。夏季休暇中に「調べる学習おたすけ講座」を3回開催し、24名の参加があった。

応募期間の中で、全部で55作品が集まり、この内特に優れた2作品を全国コンクールへ推薦し、現在結果待ちである。

②情報化社会の進展に合った情報提供の充実

八代市児童生徒における電子図書館での貸出サービスのため、令和7年度も新一年生全員の電子図書館IDを登録した。また、図書不足の解消を行うため今年度も読み放題図書を269冊購入した。電子図書館の特集コーナーを月に1度入れ替えを行い、季節に応じた図書や学習、読書、趣味に関する本を紹介している。

図書館サービスやレファレンスサービス（調査・研究のための資料探しや、必要な情報の探し方をお知らせし、調べ物をお手伝いするサービス）を必要とする利用者へのサービス向上のため、総合窓口（レファレンスカウンター）での対応を今後も充実させる。

③子どもの読書活動の推進

ブックスタート事業、定期的なおはなし会、図書館講座を継続するとともに、学校や幼稚園、保育園、産婦人科、子育て支援センターへの出前講座や団体貸出配本を実施した。

(2)市民のニーズに応える図書館

①ユニバーサルデザインの視点を踏まえた環境整備やアクセシブルな資料の充実

令和3年度から実施している読書支援サービスの普及のために「やさしい利用案内」での案内、アクセシブルな資料の充実、拡充を行った。また、障がいのため来館に困難を感じている方へは、アクセシブルな書籍の郵送サービス（視覚障害者のみ）、電子図書館でのデイジーフォンの貸出を継続して行った。

また、紙に印刷された資料だけでなく特別なニーズのある方を対象とした利用しやすい形式の資料や読書を支援するためのツールとして「りんごの棚」を全館に設置した。昨年度、本館に

設置したものを、今年度は分館にも設置した。また、読書バリアフリー活動の普及に努めている。

※アクセシブルな書籍：障がい者等が利用しやすい書籍。点字図書、拡大図書、LL ブック、触る絵本、布絵本、音声読み上げ対応の電子書籍、ディジタル図書等

②外国語資料の充実

英語でのおはなし会やイベントを継続して行うとともに、外国語資料の収集及び提供を継続して行った。また、英語以外の図書や日本語学習の資料をそろえた「多言語コーナー」を充実させている。

③地域における読書活動の充実

移動図書館を運行し、図書館から遠い距離にある遠隔地の市民への図書提供を行うとともに、学校や福祉施設の要望に沿った図書の団体配本も行っている。

④定住自立圏協定による広域連携サービスの実施

氷川町及び芦北町との定住自立圏協定による相互利用（利用者カード登録、図書貸出）を継続して行った。

⑤県立図書館をはじめとした他自治体図書館との連携

相互貸借などによる県立図書館や他自治体図書館との連携を継続して行った。

⑥図書館の施設整備

令和5年度より開始した IC バーコード、IC ゲート等の IC 機器による図書の管理、及び自動貸出機での貸出を継続して行い、利便性の向上に努めた。

⑦指定管理者による運営

連携を図りながら、より高度で効率的な図書館サービスの提供を行っていく。

（3）八代の文化を支える図書館

①文化創造機会の提供

プログラミング講座「ロボットこくりをうごかしてみよう！」を定期的に開催し、実際にロボットを動かしながらプログラミングを学ぶきっかけ作りとなった。

体験型イベント「ボードゲームであそぼう」を開催し、利用者同士の交流や図書館利用のきっかけ作りとなった。ボードゲームは今年初めての取り組みとして、11月3日（月曜日・祝日）に本館で開催し、42名の参加があった。

②各館ごとの特色あるサービスの提供

教育機関、各種施設、市民団体等と連携した展示コーナーやイベントを積極的に行い、郷土八代の魅力を発信した。

本館では、八代市立図書館開館40周年記念行事として「平田昌広さんのえほんライブ」を11月1日（土曜日）に開催し、53名の参加があった。平田昌広さんご本人が、著作絵本を映像を用いて読み聞かせをしたり、ことばあそびやクイズ・歌などをしたり、参加型のえほんライブを行ったりした。平田さんの明るい人柄もあり、あたたかで和やかな雰囲気の中で開催された。講演後はサイン会も行い、1人1人とじっくりと話されながら時間をかけてサインしていただいた。希望があれば写真撮影にも対応してもらった。

せんちょう分館では、いつも分館で行っている「かがくあそび講座」を本館のとしょかんマルシェの中で行う予定。また、12月13日（土曜日）の「まなびフェスタ」では、今年は八代市公

民館でおはなし会を開催する予定。

かがみ分館では、今年もかがみマンガ Week を開催した。また鏡文化センターとのコラボ展示等も行った。

(4) 市民協働による図書館

①学校との連携強化、協働による事業の充実

図書館資料や情報提供、読書活動推進へのアドバイスを行うなど、学校や学校図書館との連携を継続して行った。取組一例として、学校図書館支援員研修会「子どもが本に興味を持つような図書館運営について」講演と読書サービス案内、団体貸出配本等を行った。

②地域施設・ボランティアとの連携・協働による読書推進

地域の団体との連携により展示やイベントを開催した。取組一例として、2025 第3回がん検診啓発イベントを保健センターと労災病院との共催で10月4日（土曜日）に行った。参加者は157名だった。

また、博物館と図書館共催で「学芸員のこだわり八代学@八代市立図書館」を行った。博物館が休館中なので、学芸員の方が図書館に出張して全5回の講座を行った。

③自主事業への市民参加

子ども読書週間に合わせ「春の図書館まつり」、秋の読書週間に「秋の図書館まつり」を開催した。また、令和8年2月に「としょかんマルシェ」を開催予定。

④図書館運営への市民参加

市民の方々や有識者の意見を図書館運営に反映するため、図書館協議会を適宜開催し、透明性の確保及び図書館サービスの向上を図っていく。また、利用者アンケート調査にて、いただいた意見を図書館運営に反映させる。

●令和7年度の事業計画について

(1) 市立図書館 本館 修繕計画

中央監視装置の監視用パソコンの更新がある。パソコンは発注済みで届き次第、休館日に交換予定。また、南側スロープの滑り止め張替修繕は複数年に渡って修繕をする予定で、今年が2年目となる。すでに修繕済。

(2) 市立図書館 本館 机・椅子購入

森林環境譲与税を利用し、集中調達で実施したところ1回目は不落になり、現在、仕様書を再調整中。

(3) 図書館システム更新

受託業者選定委員会で、受託業者は現在と同じ株式会社KISに決定した。機械リース業者入札も、現在と同じく肥銀リース株式会社八代支店に決定した。

令和8年2月1日から新システム稼働する予定である。機器入替・蔵書点検のため本館とかがみ分館を休館する。期間は、1月19日から28日の予定。せんちょう分館については、工事

の進行により実施する予定としている。

(4) せんちょう分館 工事状況

災害復旧工事で、建築・電気関係は、株式会社ユタカ建設にお願いをしている。電気関係は9月8日から2月末まで工期間で、床下埋没の電源を30cm床上に上げる等の工事を行う予定。建築関係（内装・書架・畳）については、カーペット張替・書架修繕・畳新調等を全て実施中。

空調改修関係は、有限会社鍬先設備に決定し、契約の手続きが済んだ。

関連事項として、書籍移動・保管については、株式会社バンテックに発注済。すでに古城町の元JA倉庫に保管済。閉架のハンドル式移動棚は、有限会社小林商店に決定した。現在設置してある電動式移動棚のモーターが床上10cm程度の所にあり、水没で使用できなくなつたため、今回ハンドル式へ変更する。せんちょう分館の被害状況については次に詳しく説明する。

委員：只今事務局より報告があったが何か質問等は？

委員：図書館が大変がんばっていることに敬意を表したい。文化というのは1人でも多く本を読むということが大事。目標を子ども達に見せることも必要ではないか。いかに多く読んだかを記録する読書通帳などを取り入れている館を見ていいなあと思った。

委員：目標を持つということでよいと思う。先ほどの電子図書館の利用についての報告でもあったが、協議会の話し合いを元に図書館で実践されているということを聞いて嬉く思う。他には？

事務局：指定管理は5年に1度見直しをしているが、TRC図書館流通センターが今年の4月から3期目に入った。指定管理を決めるときには運営についてプレゼンをしていただいたが、改めて今年度の新しい事業を教えていただきたい。

事務局：先ほど報告にあった「ボードゲーム」や、今後の事業となる「1人1棚」などが新規事業にあたる。「1人1棚」は、例えば本棚1棚分をお預けしてマイ本棚を作り、利用者に借りてもらう。図書館流通センターの他の受託館でも多くの図書館が実施していて、八代でもやっていく。あとは今行っている事業の延長線だが、色々な教育施設等に配本するサービスは拡充していく。実は産婦人科への本の配本は、図書館流通センターの受託館の中では八代市立図書館のみが唯一独自に行っている。

事務局：今、説明していただいたように、色々なことをプレゼンし取り組んでいただいている。どんどん事業をしていただいて図書館を使いやすく、盛り上げて行ってもらいたい。

委員：教育部長の挨拶の中で開館40周年経ったということだった。今色々説明していただいて、職員の皆さんには本来の貸出事業だけでなく、色々なイベントまで非常に努力されて大変だと思う。そこで、40年も経った施設として建て替えの計画はあるのか。お祭りでんでん館も新しくでき、この一帯は文化ゾーンということで市報にも載っているが、果たして文化ゾーンと言えるのか。建物そのものが、今の時代に機能しているのか、将来の計画があれば聞きたい。

事務局：減価償却・耐用年数は50年から60年と言われている。実際40年経っているのでどこかのタイミングでリフォーム工事などをいかなければならない。アンケートにもトイレの話が結

構出でいて気にしている。社会教育施設の他の施設でも声がある。非常に狭かったり、和室のままだったりする。エレベーターの問題もある。まずはそちらの工事を行っていきたい。このような声はしっかり財政に届けてやっていきたい。建物自体も教育委員会が持っている中でも、図書館は古い状態。博物館が今改修工事なので、次は図書館にいきたいが、まだ具体的に建て替えを行うかどうかの計画はない。ただ、近隣の図書館が、例えば不知火の図書館や天草の図書館のように色々なところでリニューアルが進んでいるので、使いやすさを第一に考えて早めに検討したい。いつ、というのは今のところないが、声は伝えていきたい。

委 員：40周年イベントやマルシェなど本当に沢山の人が来る。職員の皆さんもイベントはすごく工夫されて頑張られている。あとは、駐車場の問題や学習コーナーなど、設備の問題が大きい。2階のロビーや、1階の談話コーナーも電気が暗い。コロナ禍以降、図書館に人は戻ってきているというのは実感としてある。あとは設備の部分を是非お願いしたい。

事務局：今日の大集会室も電気が暗い。現在計画中のLED化も早く進めたい。学習机などの環境整備にも力を入れていきたい。都城市立図書館にも視察にいったが、他の図書館の良いところも取り入れながら、出来る所からまずは変えていきたい。貴重なご意見感謝する。

委 員：色々なハード面などを改善される際は、来館者アンケートでもあるように、広報やつしろやホームページなどでも広報していただけだと、「変わるんだな、良くなるんだな」という実感を持てると思う。よろしくお願いしたい。

委 員：今日、来館したらみんな静かに本を読んでいた。しかし、親子で会話しながら読めるようなスペースもあったらいいなと思った。

事務局：私も個人的にはそのような部屋があると望ましいと思う。赤ちゃん連れの方には赤ちゃんの部屋があるので、そこで授乳したりおむつ替えもできる。赤ちゃん以外でも、理想としては、多少大きな声でしゃべってもいい賑やかなスペース、学習コーナーのスペース、静かに読書ができるスペース等と、住み分けが図書館の中であると、色々な方が気兼ねなく図書館を利用できるかなと考えるが、どうしても今、ハード面で区切るのは難しい。今は、学習スペースではなくべく静かにしていただき、利用者の方が本当に節度を守って利用して頂いている。苦情もほとんどないが、子どもさん連れの方がもっと安心して利用できる図書館は絶対的に必要となってくる。

委 員：大きな声を出すのは図書館なので違うと思うが、親子で本を読んで、会話することはできるかということを聞きたい。本を通してコミュニケーションがとれるといい。

事務局：はい、それはそのような利用はされている。していただきて大丈夫だ。

委 員：近くの幼稚園から図書館を利用している。物理的な壁があることはないが、絵本は絵本のコーナーで固めるなど、住み分けはしてくれている。子ども達は大きな声は出さないが、図書館のスタッフの方にどんな本がいいか聞くような会話はある。必要な会話は制限されることなく、いい雰囲気で利用できる図書館だと思う。子ども達もここは図書館という独特的の施設と分かっている。一度、図書館で転んだ子どもが、大きな声を出さず我慢したことがあった。公共の施設を使うといういい経験ができている。そういう意味では雰囲気のいい、いい図書館だと思う。

委 員：私もよく図書館を利用している。メールで予約をして連絡をいただく。アンケートにもあ

ったが、スタッフの方々が本当にいい対応をしてくれると思う。ちょっとあれ？という仕草をすると、すっと近寄ってきてくれて、「〇〇しましょうか」とか「〇〇どうですか」とか、声かけをしていただく。いつも親切な対応に感謝する。

委 員：かがみ分館には、オープンスペースだが間仕切りもある読み聞かせにはほどよい「絵本の部屋」もあっていい。そこで、親子で読み聞かせをしても回りの方に迷惑がかからないいい、スペースだと思った。利用している親御さんも、そこを出れば公共の施設だから静かにしなければいけないということをちゃんと子どもに理解させていただければいいなと思った。鏡小では「まち探検」でお世話になった。ウェルカムボードもあった。他の利用者もいる中での見学だったが、適度な音量で説明をしていただいた。読み聞かせで心が温まり、かつマナーも守るという経験ができ、大変感謝している。

図書館運営の統計資料について、8月からせんちょう分館が使えなかつたことや、水害で車が使えず交通手段がなくなつた方が多くいたことを踏まえても、貸出冊数等は数字としては良好だと思った。色々な取り組みをしたことが効果に現れている。ホームページや広報は大変有効ということが分かった。参考にしたい。

【3】せんちょう分館大雨被害について（報告）

事務局：せんちょう分館大雨被害について報告する。

8月11日（月曜日・祝日）、未明に発生した線状降水帯により、熊本県全域が大雨となつた。午前6時ころ、図書館の開館について生涯学習課と図書館で協議し、全館臨時休館を決定した。午後2時頃、本館の様子を見に行ったところ、駐輪場が水没しているのを確認した。千丁町の被害が甚大で、午後6時ころ、せんちょう分館の様子を見に行ったところ、館内が床上浸水しているのを確認した。室内は場所により10cmから20cm程度浸水していたと思われる。

8月12日（火曜日）、本館とかがみ分館の状況を確認。かがみ分館は異常なしだったが、本館の空調が機能せず、この日も全館臨時休館とした。せんちょう分館は、溜まっていた水は一旦引いているが、床下には水が溜まっている状況で、床下埋没の電源により漏電が発生していた。また室外機も水没し、空調も動かず、機械警備も停止した。床の絨毯は水を含んでおり、踏むと水が滲んでくる状況だった。

8月13日（水曜日）よりせんちょう分館に所蔵している6万5千冊の本の移動や片づけ等の作業開始した。まずは、書架の一番下の段に並んでいる本が水分を含んで膨れ上がってきていたため、棚の一番上へ避難した。本以外の濡れた畳や机、椅子などを一旦外へ搬出した。本の一部（郷土資料など貴重な物、新刊、人気本など）は本館へ運び出し、除菌と乾燥をさせ、現在本館にて貸出を行っている。その他の本は倉庫への運び出しが決定した。9月に入り、搬出業者が決定した。

10月1日（水曜日）～10月7日（火曜日）館内に残っている全ての資料を倉庫へ運び出す作業を行つた。段ボールに本と除菌剤・乾燥剤を詰めて、トラックで古城町の元JAの倉庫まで運んだ。

10月14日（火曜日）～2月までの予定で館内工事開始した。床張り替え、棚の修理、電気配線

工事、畳新調などを実施中。電気配線は同程度の浸水に対応できるよう、30cm程度上に上げて設置する予定。

空調工事の入札も済み、準備が出来次第工事に入る。こちらも室外機を30cmかさ上げして設置する予定。本棚の修理の為、畳のあった床を剥がしたところ10月末にまだ水が残っていたと工事責任者から説明があった。また、床板近くの本棚を外したところ、壁がカビで真っ黒になっていたとのことで、壁も貼り換えを行った。

1月から2月予定をお伝えする。館内の工事と調整をしながら、閉架に現在ある電動式移動棚の撤去し清掃・消毒をした後、ハンドル式移動棚の設置予定。

2月から本館や倉庫に運んでいた本を書架へ戻す予定。同時に、図書館システムの設置、蔵書点検の予定。

2026年4月開館予定。壁のカビの件に加え、どうしても修繕できない柱の問題もある。せんちよう分館は子どもの利用者が多く、利用者から心配の声もいただいている。アレルギー等が出ないよう、本を並べた後、館内を燻蒸する予定。

委 員：只今事務局より報告があったが何か質問等は？

委 員：ご苦労様の一言だ。

委 員：復旧作業どうぞよろしくお願ひしたい。

これで予定されている議事は終了する。改めて委員の皆さんから何かご意見は？

委 員：館長はじめ職員の皆さんには日頃から感謝しているところだ。子ども達の読書の質を上げるというところでは、どこの学校でも取り組んでいると思う。秋は特に読書祭りで全ての学校で取り組まれ、八代市はハッピーブックという目標もあり、それに向けて頑張っているところだろう。本校もかがみ分館から、沢山の本の貸出をしてもらっていてありがたい。地域でも図書館から本を借りて読み聞かせを行っているところだと思う。

読書の取組に関連して1つ報告したい。今年度、9月に八代市学校図書館教育研究会を行った。図書館担当の教諭と学校図書館支援員の合同で開催した。その際に、八代市立図書館から講師をお招きして講話をしてもらった。とてもすてきな内容だった。ポップ作りと、アニメーションと実技を交えて、あっという間の1時間だった。専門性の高い研修で丁寧に対応していただいた。参加者も大変喜んで、また別のテーマでもお願ひしたいという感想があった。今後学校も、子ども達に関わる教諭・支援員の質や、図書館運営の力を上げる読書活動をしていきたい。今後ともよろしくお願ひしたい。

委 員：次年度、八代市に6園ある幼稚園が2園になる。閉園する幼稚園にそれぞれ図書室等があるが、児童向けの本がかなりの量ある。せんちよう図書館でも畳の絵本コーナーを大変活用していたが、今回の水害で絵本もだいぶ駄目になったのかなと心配している。まだ、教育委員会への相談等はしていないが、利用可能な本を処分するということにならないよう、色々な所に情報発信をしたり相談をしたりしたい。今後、園でもっている本の利活用について情報があれば教えていただきたい。

委 員：本は財産ということで、情報発信をして活用していただければよいと思う。

5. その他

事務局： 今度システム入替と蔵書点検を一緒に行う予定。1月19日～28日まで全館休館となる。

この期間、移動図書館わくわく号の巡回も運休、電子図書館もアクセスできない。予約や検索などシステムを使うことに関しては利用できない。この期間、長い休みになり利用者にはサービスができなくなり申し訳ない。システム入替のためということで御了承いただきたい。システムは今使用しているもののバージョンアップなので、利用の仕方についてはさほど変わらないが、マイナンバーカードでの貸出等新しいサービスも多少入ってくる。また図書館から広報していく。

また、今年度の図書館マルシェは2月15日の予定。せんちょう分館が休館している状況なので、せんちょう分館独自の催し物も取り入れながら、「せんちょう分館復興」をテーマに行う。

今後ともどうぞお願いします。

6. 閉会